

# 教育センター

センター長 福島 統

教授：福島 統 医学教育学  
 教授：尾上 尚志 医学教育学  
 教授：中村真理子 医学教育学  
 准教授：石橋 由朗 医学教育学  
 講師：岡崎 史子 医学教育学

## 教育・研究概要

1999年4月に教学委員長を室長に医学教育研究室が学事部学務課内に設置され、2002年4月には初年次教育の拡充のために、国領校に医学教育研究室国領分室が設置された。2005年10月に教育センターが設置され、その中に医学教育研究室、看護教育研究室、卒後教育支援室、教育開発室が置かれ、2006年4月には教育センター事務室が設置され、教育センターとして本格的な活動が開始された。福島 統が2007年4月に教育センター長に就任し、2010年4月、2013年4月、2016年4月に再任された。教育センターは、2010年4月にC棟7階に移動し、シミュレーション教育施設およびe-Learning施設の管理運営も行っている。2015年8月1日に東京慈恵会医科大学教育センター規定が改定され、教育センター内に医師キャリアサポート部門（部門長：福島 統）、看護キャリアサポート部門（部門長：高橋則子）、シミュレーション教育部門（部門長：尾上尚志）、地域医療支援部門（部門長：松島雅人）、教育IR部門（部門長：中村真理子）、アドミッション部門（部門長：木村直史）が活動している。

### 1. 学内卒前教育・大学院教育

学内教育活動として、福島教授はコース医学総論Ⅲ～Ⅵのコース責任者、「福祉体験実習」、「重症心身障害児療育体験実習」、「地域子育て体験実習」、「高齢者医療体験実習」、「プライマリケア・学外選択臨床実習Ⅰ～Ⅵ」、「医学研究Ⅰ～Ⅵ」のユニット責任者、中村教授は「医療総論演習」、「Early clinical exposureⅡ」、「医学総論Ⅲ演習」のユニット責任者、尾上教授は「基本的臨床時能実習」、「臨床医学演習」（テュートリアル）のユニット責任者、岡崎講師は「在宅ケア実習」、「病院業務実習」、「医学総論Ⅴ演習」、「家庭医実習」のユニット責任者を務めた。大学院教育として、福島教授、尾上教授、中村教授は共通カリキュラムの医学教育学を担当した。

看護キャリアサポートセンターは、高橋則子部門長を責任者として、1) エデュケーションナース研修、2) 基礎教育と臨床の交流研修、3) 慈恵医大ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修などの看護学教育プログラムを実施した。

2. 教育IR部門は、中村教授を部門長として、入試データ、学生の卒前業績データ、卒業生アンケートデータなどの解析を行った。

3. シミュレーション教育部門は、尾上教授を部門長として、シミュレーションセンターの備品整備、教育環境整備などを行った。

4. 医学教育振興財団主催「医学教育指導者フォーラム」と文部科学省主催「医学・歯学教育指導者ワークショップ」を支援した。フォーラムでは、「明日の医学医療を支える人を選ぶ：入学者選抜」を主題とし、英国での面接試験（Multiple Mini-Interview: MMI）の原理と方法について、医師になる者の多様性を広げるためのWidening participationという入学者選抜の考え方とその入試の実際の詳細について紹介した。文部科学省主催のワークショップでは、「卒前・卒後の一貫した医師・歯科医師養成について」、医学教育モデル・コア・カリキュラム（2016年）と臨床研修到達目標（2020年案）の2つのアウトカムの関係を、診療参加型臨床実習Ⅰ（卒後臨床研修を見据えた教育の方略）、診療参加型臨床実習Ⅱ（地域包括ケアシステムの実践的教育）、診療参加型臨床実習Ⅲ（指導者の育成・確保）、卒後臨床研修を見据えた卒前教育における臨床能力評価の在り方の4つの視点から討議を行った。福島教授は、フォーラムとワークショップの企画に参加した。中村教授は文部科学省ワークショップのモデレーターとして参加した。

5. 福島教授は、文部科学省関係では、2018年度「職業実践専門課程における第三者評価の実用化に関する調査研究分」に第三者評価の仕組み構築委員として参加し、2018年度文部科学省受託事業「職業実践専門課程に棟を通じた専修学校の質保証・向上の推進」、「職業実践専門課程における第三者評価の実用化に向けた調査研究」、「柔道整復師養成分野における第三者評価の取組」事業成果報告を作成した。厚生労働省関係では、あん摩マッサージ指圧師、

はり師、きゅう師及び柔道整復師等の広告に関する検討会座長、東京都関係では、東京都地域医療対策協議会委員、東京都地域医療支援センター運営委員会委員を務めた。

6. 日本医学教育評価機構（JACME）の他医学部外部評価の活動で、福島教授は福岡大学医学部、愛媛大学医学部での評価員主査、徳島大学医学部の評価員、中村教授は宮崎大学医学部での評価員主査、金沢医科大学での評価員副査を務め、また評価者養成ワークショップの講師を務めた。

7. 医療系大学間共用試験機構の活動では、中村教授は医学系 CBT 実施小委員会病態解析 EMI 問題作成専門部会委員 CBT モニターとして山形大学医学部、神戸大学医学部、福井大学医学部に派遣された。石橋准教授は医学系 CBT 実施小委員会症候 EMI 問題作成専門部会委員 CBT モニターとして帝京大学医学部に派遣された。岡崎講師は診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）委員会の委員、同トライアル実施小委員会委員、同臨床実習後コンピテンス検討・課題調整部会会長、同外部評価者養成検討部会委員、同模擬患者標準化部会委員を務め、Post-CC OSCE の視察委員として大阪医科大学、関西医科大学、自治医科大学、新潟大学に派遣された。また、Post-CC OSCE 大学独自課題作成支援ワークショップや臨床実習後 OSCE 認定評価者講習会（東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学、兵庫医科大学、御茶ノ水ソラシティ、京都キャンパスプラザ）での講師を務めた。

8. 学外での医学教育関係講演

- 1) 社会医学技術学院
- 2) 防衛医科大学校
- 3) 岐阜大学
- 4) 公社全国柔道整復学校協会
- 5) 厚生労働大臣指定柔道整復師専科教員講習会
- 6) 厚生労働大臣指定理学療法士・作業療法士・言語療法士養成施設等教員講習会
- 7) IMS 医療安全管理者講習会
- 8) 目白大学大学院
- 9) 兵庫医科大学
- 10) 福島県立医科大学
- 11) 私立医科大学協会
- 12) 医学教育学会主催「一般教養・基礎社会医学系教員のためのカリキュラムプランニングワークショップ」

9. 学内の FD や講習会にファシリテータあるいはチーフタスクフォースとして、石橋准教授は診療参加型臨床実習指導医養成 FD、臨床研修指導医講

習会、屋根瓦方式教育スキルアップのための後期研修医 FD、4 年次 OSCE 評価者トレーニング、Post-CC OSCE 評価者トレーニングに参加した。岡崎講師は慈恵医大地域医療教育者のための研修・交流会、アクティブラーニング導入 FD、診療参加型臨床実習指導医養成 FD、臨床研修指導医講習会、屋根瓦方式教育スキルアップのための後期研修医 FD、4 年次 OSCE 評価者トレーニング、Post-CC OSCE 評価者トレーニングに参加した。

10. 卒後臨床研修評価機構の活動では、石橋准教授がサーベイヤーとして NTT 東日本関東病院、東京労災病院の訪問調査に派遣された。

11. 学内卒後臨床教育

附属病院の内視鏡外科手術に対する教育活動として、石橋准教授は鏡視下手術学内技術認定制度の責任者を務めた。

## 「点検・評価」

1. 教育センターでは、1) 卒前医学教育支援、2) 卒後生涯学習支援、3) 看護キャリアサポート業務、4) シミュレーション教育施設運営管理、5) e-Learning の設備管理と運営、6) 教育 IR 活動、そして 7) 高大接続に関する入学試験改革を中心に活動を行っている。研究もこの活動に沿った内容で行っている。高等教育の政策変化に応じた医学教育に対応するため、教育センターの役割が拡大しつつある。教育 IR 部門は特に、今後、教育の質保証の観点からがその活動を強化していかなければならない。学修成果のデータ収集や、アルムナイ調査など本学の社会的責任の指標となるデータ収集が求められているが、データ収集能力の強化を図っていかなければならない。

2. 教育センターの活動は学内のものと学外のものに区分される。学内の活動は教学委員会及びその下部組織の委員会の支援活動で、教学委員会の依頼の下で行われている。今年度は臨床実習改善と PostCC-OSCE の準備が主なものであった。一方、学外の活動は広がってきており、文部科学省、厚生労働省、東京都など行政に関連するものと、全国医学部長病院長会議、医学教育振興財団、JACME、日本医学教育学会、医療系大学間共用試験実施評価機構などの学協会関連のものがある。学外活動は本学が今まで行ってきたカリキュラム改革の実績を評価されたものと理解している。今後も、学内だけでなく、学外の活動にも力を注いで行く必要がある。

## 研究業績

### II. 総説

- 1) 福島 統. 巻頭言：医師と倫理教育について. 医学振興 2018；86：2-5.
- 2) 福島 統. 【これからの社会医学】「行動科学」をどのように医学教育に取り入れるか. 保健の科学 2018；60(7)：460-4.
- 3) 福島 統. 【日本医学教育学会 50 周年記念】「医学教育：過去、現在、そして未来へ」医学教育の歴史. 医教育 2018；49(5)：421-8.
- 4) 石橋由朗, 矢永勝彦. 【癌手術エキスパートになるための道】エキスパートへの道 (Step 1) 研修医からの内視鏡外科手術教育 本学の学内技術認定制度. 臨外 2018；73(9)：1054-9.

### III. 学会発表

- 1) 福島 統. (日本医学教育学会 50 周年記念公開シンポジウム：記念シンポジウム「医学教育：過去、現在そして未来」) 医学教育の歴史. 第 50 回日本医学教育学会大会. 東京, 8 月.
- 2) 福島 統. (特別講演) 医療者養成における倫理教育・職業教育の側面から. 日本解剖学会第 106 回関東支部学術集会. 東京, 10 月.
- 3) 福島 統. (教育セミナー) 医療者教育における倫理教育 - 職業教育の側面から -. 第 33 回日本生殖免疫学会総会・学術集会. 東京, 11 月.
- 4) 恒川幸司 (岐阜大), 荒井貞夫 (東京医科大), 中村真理子, 岡田聡志 (千葉大), 浅田義和 (自治医科大), 椎橋実智男 (埼玉医科大). (プレコンgres ワークショップ 2) 医学教育と IR ~ シームレスな医学教育のための IR 組織を目指して ~. 第 50 回日本医学教育学会大会. 東京, 8 月.
- 5) 石橋由朗, 岡崎史子, 中村真理子. 実践的な内視鏡下縫合・結紮トレーニングモデルの作成. 第 50 回日本医学教育学会大会. 東京, 8 月.
- 6) 岡崎史子, 石橋由朗, 川村哲也. SHARE を使ったがん告知演習で, 医学生は何を学ぶか. 第 50 回日本医学教育学会大会. 東京, 8 月.

### IV. 著書

- 1) 福島 統編. 臨床病態生理学：看護師特定行為研修共通科目テキストブック. 大阪：メディカルレビュー社, 2018.
- 2) 福島 統. 第 2 部：新たな展開 9. プログラム評価. 日本医学教育学会監修. 医学教育白書：2018 年版 (15~18). 東京：篠原出版新社, 2018. p.225-9.
- 3) 福島 統. I. 医療面接 8. フィードバック. 大村和弘, 川村哲也, 武田 聡編. 専門医が教える研修医のための診療基本手技. 東京：医学書院, 2018. p.38-40.

- 4) 中村真理子. 第 2 部：新たな展開 12. Institutional Research. 日本医学教育学会監修. 医学教育白書：2018 年版 (15~18). 東京：篠原出版新社, 2018. p.243-8.
- 5) 岡崎史子. I. 医療面接 2. Medical Interview. 大村和弘, 川村哲也, 武田 聡編. 専門医が教える研修医のための診療基本手技. 東京：医学書院, 2018. p.8-13.

### V. その他

- 1) 中村真理子, 椎橋実智男 (埼玉医科大), 伊藤彰一 (千葉大), 浅田義和 (自治医科大). 座談会：医学教育における IR の機能と使命. 週間医学界新聞 2018；3288：1-3.